

2月9日

テーマ：「わかち合う知恵」

聖書箇所：テモテへの手紙第一 6章 17節～19節

◆今日のみことば

また、人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。  
テモテへの手紙第一 6章 18節

◆メッセージ

パウロさんは、この世の富を多く持つ人たち、たとえばお金持ちに対してメッセージを送っています。この世には、たくさんのお金を持っていることで、自分の人生はもう安心だと勘違いし、神さまに目を向けない人がいます。そのようなお金持ちは、銀行にたくさんのお金を預け、そのお金をこの世で、自分の楽しみや、家族のためだけに使おうとします。またお金を持っていることを自慢したり、持たない人を低く見てしまったりすることもあります。しかしお金は、本当は頼りになりません。火事になれば燃えてしまいます。お金があっても買えないものがあります。パウロさんは、「お金持ちであることを自慢してはいけませんよ。本当に頼りになるのは神さまだけです。本当に楽しい人生を送れる人は、神さまに信頼する人だけです。」と教えています。



もちろん、クリスチャンはお金持ちになってはいけないということではありません。聖書には、たくさんのお金持ちが登場します。でもパウロさんは、この世の富を多く持つ人には、その使い方に対して、「大きな責任がありますよ。」と教えています。それはどんな責任でしょうか。たとえばそれは、自分の楽しみや、自分の家族のためだけにお金をつかうのではなく、より多くの人に喜ばれるようにお金を使うことです。また特に大切なのは、困っている人たちにお金を寄付し、そしてそれを損と思わないことです。そのようなお金の使い方が、神さまに喜ばれるのです。



◆お祈り

「神さま。私がお金に頼ってしまうことがないように助けてください。またもし私がお金持ちになったら、神さまに喜ばれるお金の使い方ができますように。」

(派遣教師・東京基督教大学 岡村直樹)